

2015年3月期第1四半期 決算説明

プラマテルズ 株式会社

(証券コード 2714)

(注) 本資料中、当社の業績等に関わる数値は、表示桁数未満で切り捨てして記載しております。

目次

1. プラマテルズ株式会社の概要
2. プラマテルズ株式会社の歩み
3. コア・コンピタンス
4. 販売先業界別売上高構成比
5. 取扱商材別連結売上高増減
6. 国内拠点
7. 株式会社 富士松(国内子会社)
8. フィルタレン 株式会社(国内子会社)
9. 今後の海外戦略
10. 主要海外拠点の売上高の推移
11. 2015年3月期第1四半期連結損益計算書
12. 2015年3月期第1四半期連結貸借対照表
13. 2015年3月期連結業績予想

1. プラマテルズ株式会社の概要

設立 昭和27年3月

資本金 7.93億円

従業員 ・グループ合計 222名
・単体人数合計 86名

*2015年6月末

事業内容

プラスチック原材料の販売
プラスチック製品の製造・販売
プラスチック関連機器の販売

事業規模 (2015年3月期1Q実績)

[連結] 売上高 138億円
経常利益 1.81億円

[単体] 売上高 90.7億円
経常利益 1.18億円

関連会社

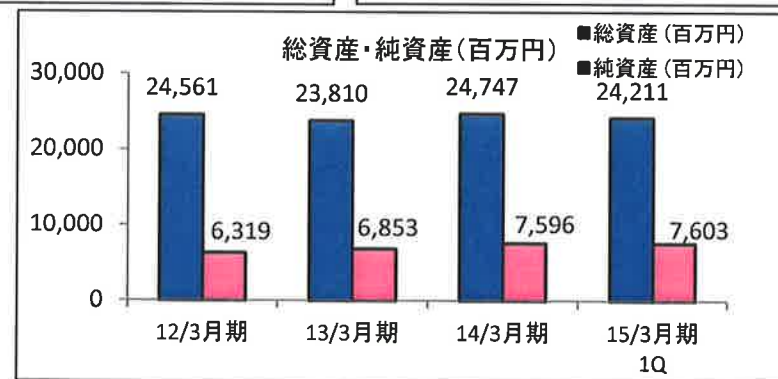
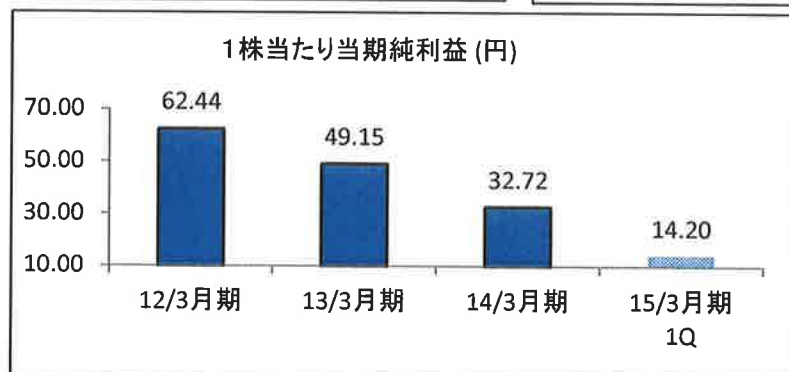
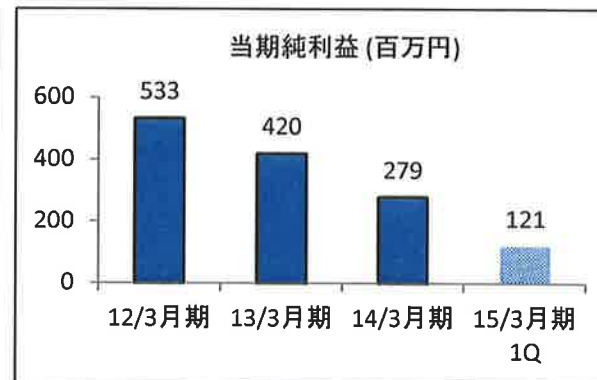
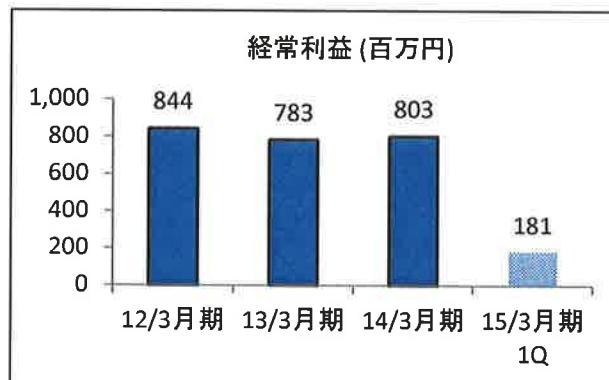
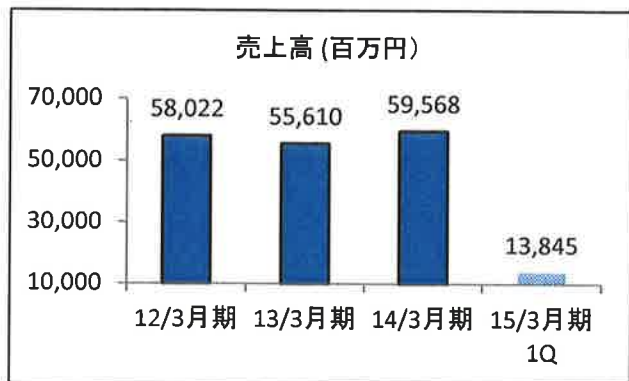
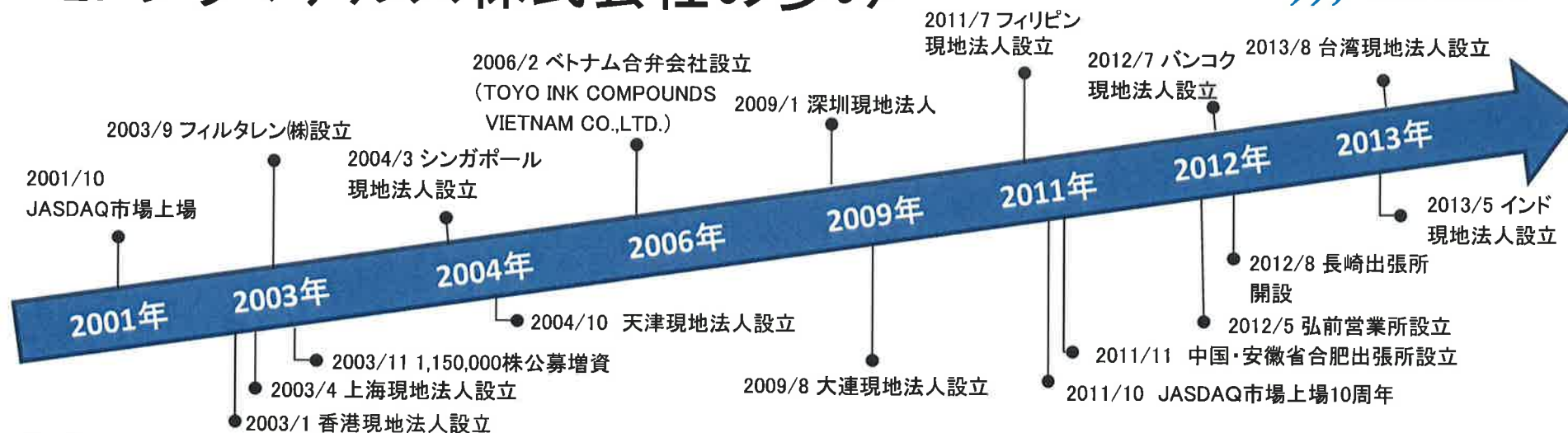
[国内]

株式会社 富士松 (大阪)
フィルタレン 株式会社 (埼玉)

[海外]

プラマテルズ香港・深圳
上海+天津分公司+合肥弁事処
大連
台湾/台中
フィリピン/マニラ
タイ/バンコク
インド/プネー
東洋インキコンパウンズベトナム

2. プラマテルズ株式会社の歩み



3. コア・コンピタンス

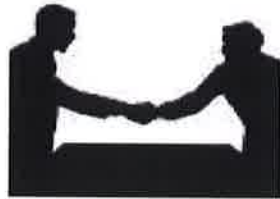
最もQCDに厳しい「日本の優良企業と継続的に取引」するために合成樹脂専門商社として

1. 合成樹脂原料に関する「高い専門性」
2. 「提案力」と「ネットワーク力」
3. 顧客とのコミュニケーションを高め、「少量多品種即納体制」の構築

特
長
・
強
み

仕 入

★友好的互恵関係にある
重点仕入先とのタイアップ

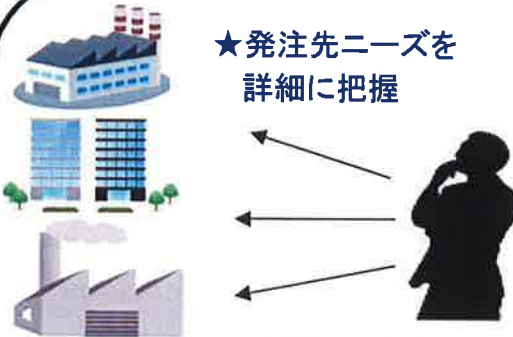


★拡販方法等に関する情報
提供を行い、仕入先との信頼
関係構築



在庫管理／物流

★発注先ニーズを
詳細に把握



★最小限の在庫で少量
多品種対応

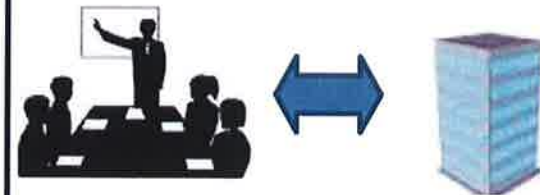


★急な要望にも対応が
出来る即納体制の確立



販 売

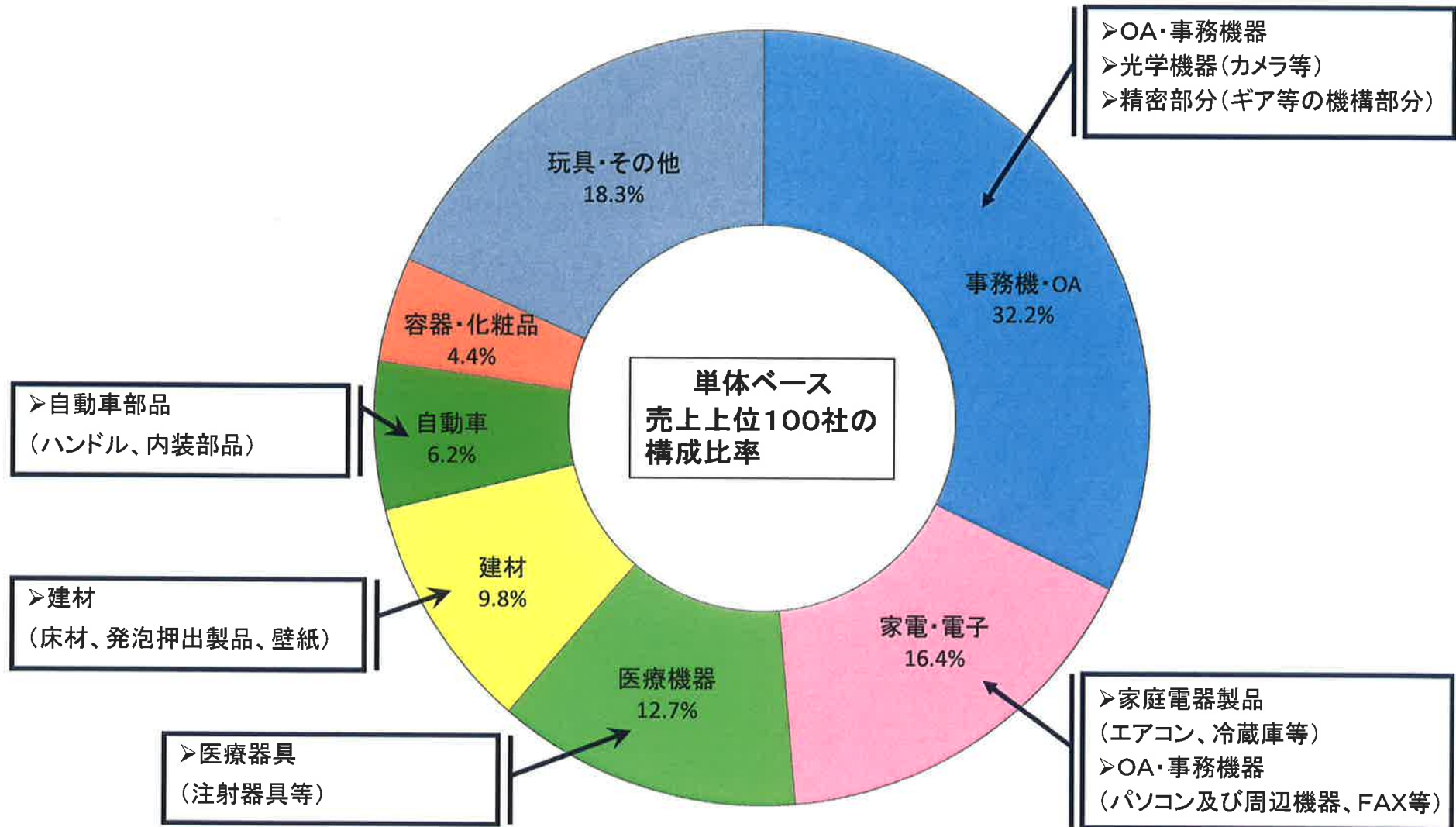
★原材料メーカーと販売先を
繋げる高い提案営業力



★技術の目利き、専門知識、
マーケティング力・仲介能力

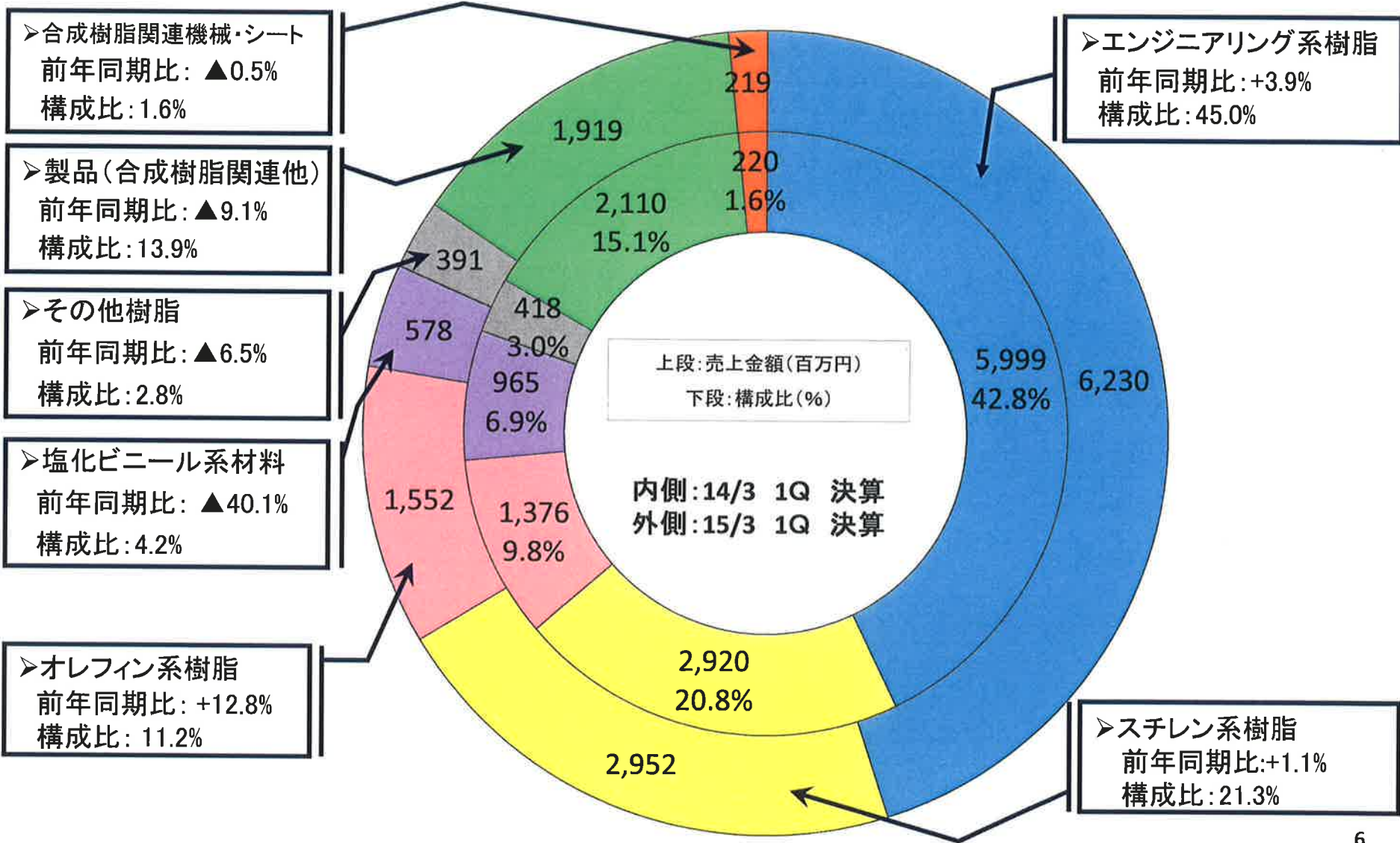


4. 当社の販売先業界別売上高構成比率



5. 取扱商材別連結売上高増減

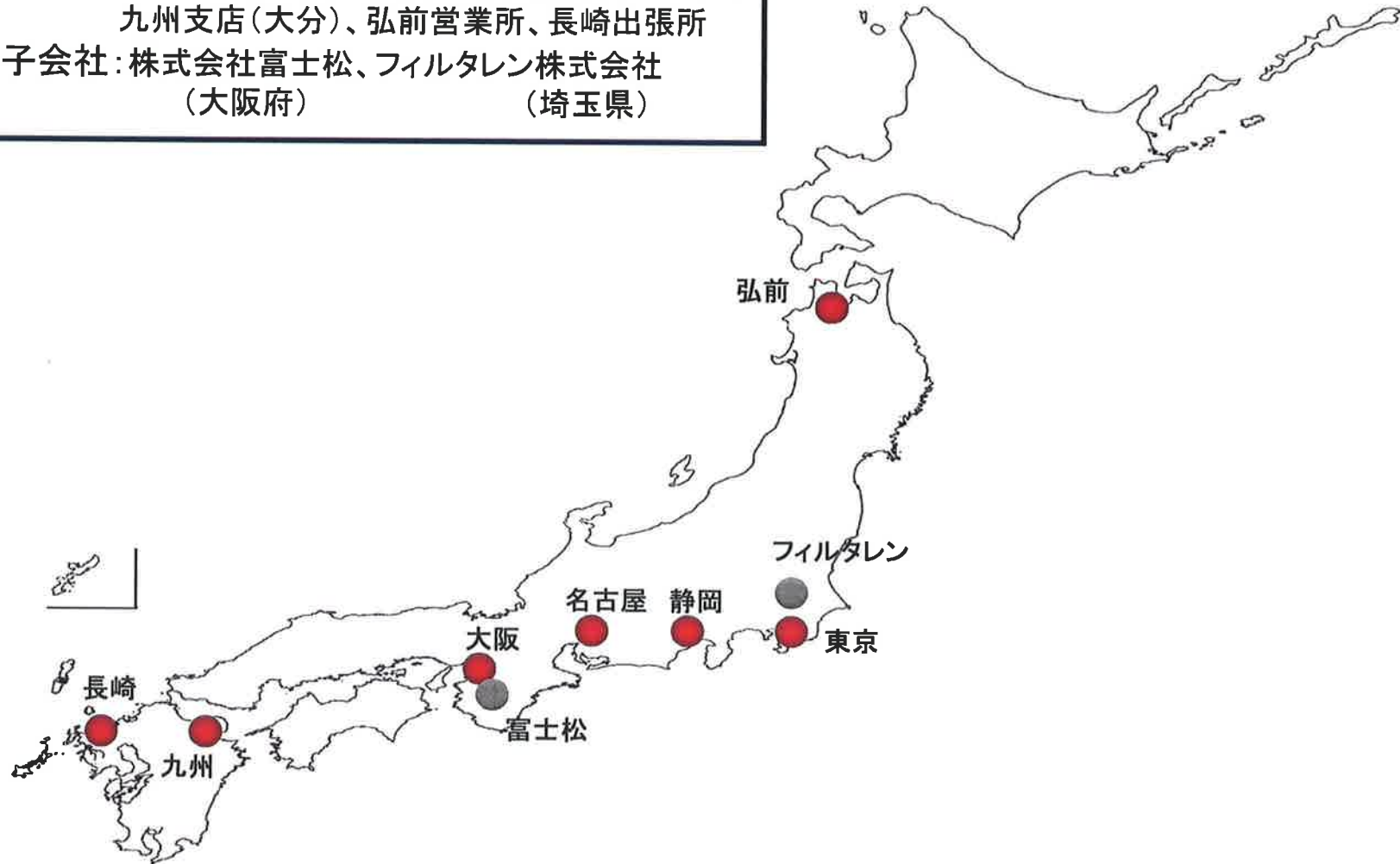
高付加価値商材は引き続き堅調に推移



6. 国内拠点

顧客密着型の営業を徹底、ともに成長をはかる。

- 国内拠点： 東京本社、大阪支社、名古屋支店、静岡支店、九州支店(大分)、弘前営業所、長崎出張所
- 国内子会社：株式会社富士松(大阪府)、フィルタレン株式会社(埼玉県)



7. 株式会社富士松(国内子会社)



【会社概要】

所在地：〒544-0002 大阪市生野区小路1丁目20番19号

設立年月：昭和28年10月1日

資本金：49百万円

売上高：32.5億円（平成26年2月期）

従業員：45名（平成26年6月末現在）

事業内容：プラスチック原材料 製品企画・販売・開発



取扱製品



8. フィルタレン株式会社(国内子会社)

【会社概要】

所在地：〒335-0033 埼玉県戸田市笹目北町7番8号

設立年月：平成15年9月9日

資本金：80百万円

売上高：3.5 億円(平成26年2月期)

従業員：35名(平成26年6月末現在)

事業内容：焼結多孔体(プラスチックフィルター)の製造販売
及び輸出入



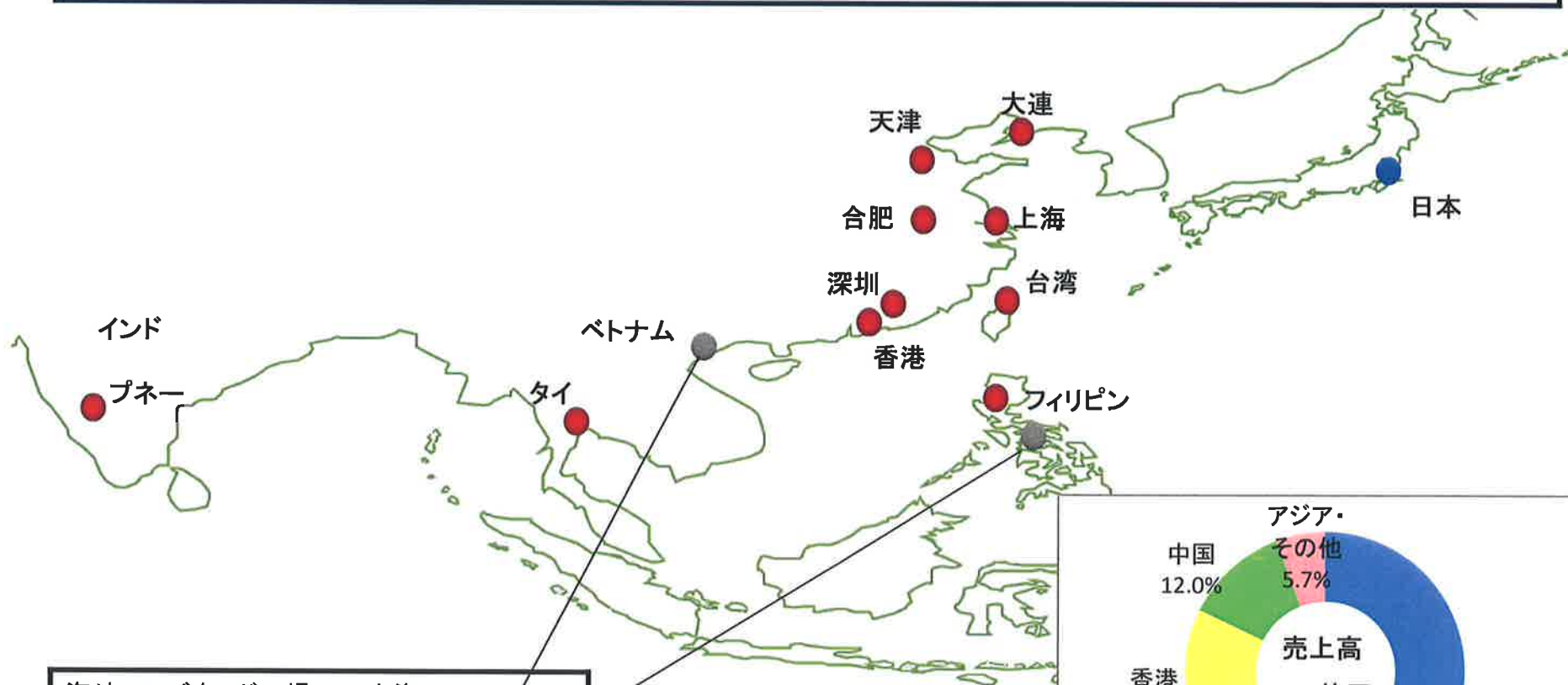
取扱製品



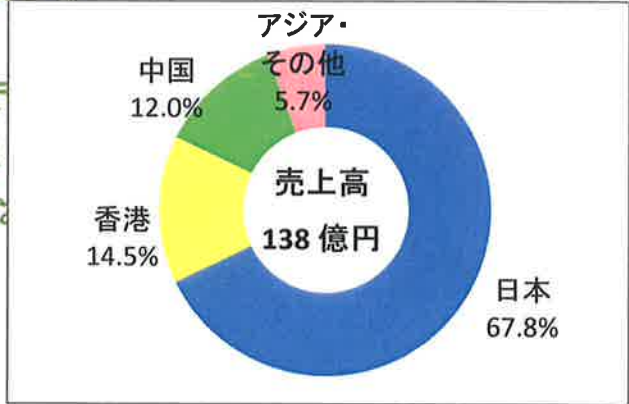
9. 今後の海外戦略

<海外拠点の整備方針>

顧客企業は、生産拠点をアジア全体に拡大。当社も海外拠点整備の重点エリアを中国のみならず、広くアジアに展開し、変化する顧客ニーズを確実に捉える体制を構築すべく、2013年度でアジアの拠点整備は完了した。更なる成長を目指し各拠点の強化に努める。



海外コンパウンド工場への出資
 TOYO INK COMPOUNDS VIETNAM CO.,LTD.
 ベトナム 20%出資
 TOYO INK COMPOUNDS CORPORATION
 フィリピン 7%出資



10. 主要海外拠点の売上高の推移

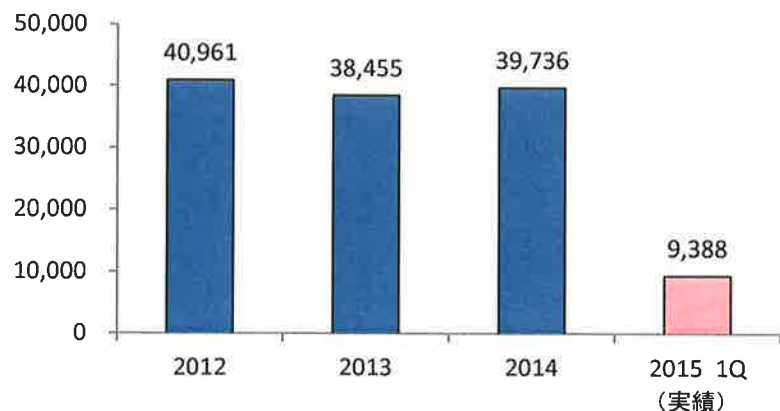


国内売上高 対前年同期比 Δ 2.5% 海外売上高 対前年同期比 +1.6%
 海外売上高比率 2015/3期1Q 32.2% (2014/3期1Q 31.3%)

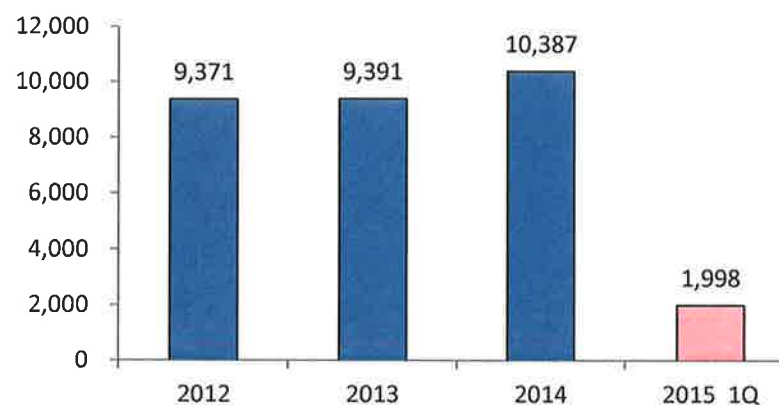
<海外主要拠点>

【単位】金額:百万円

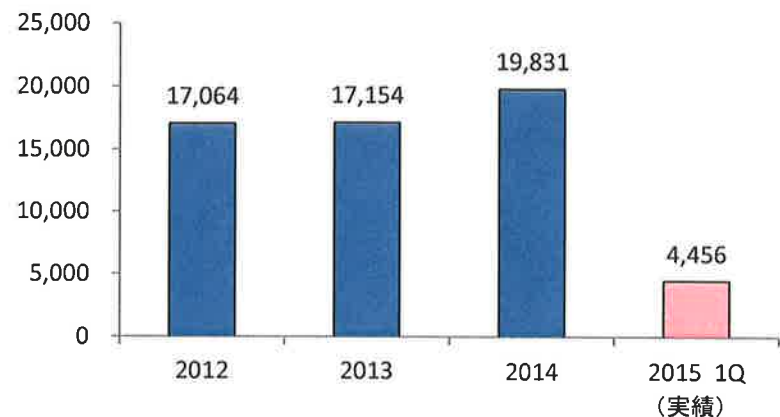
<国内売上>



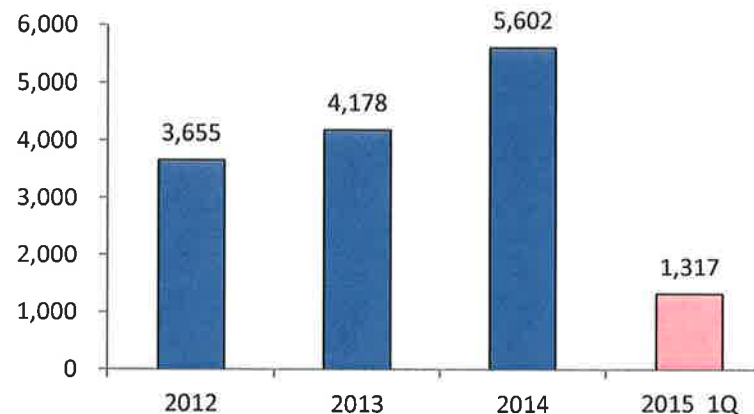
<香港>



<海外売上>



<上海>



11. 2015年3月期 第1四半期連結損益計算書



	14/3 第1四半期		15/3 第1四半期			
	金額	売上高比	金額	売上高比	増減額	前年同期比
売上高	14,011	100%	13,845	100%	▲166	-1.2%
うち海外売上高	4,387	31.3%	4,456	32.2%	+69	1.6%
売上総利益	762	5.4%	797	5.8%	+35	4.6%
営業利益	168	1.2%	186	1.3%	+17	10.5%
経常利益	161	1.1%	181	1.3%	+20	12.5%
当期純利益	87	0.6%	121	0.9%	+34	39.1%

海外売上高
主たる要因は、海外新拠点の販売増加

営業利益
売上総利益の増加に加え、経費の効率化により増益を確保

当期純利益
主たる要因は、前年発生した固定資産除却損の発生がなかった為

【単位】金額:百万円

12. 2015年3月期 第1四半期連結貸借対照表



	14/3月期 1Q		15/3月期 1Q		
	金額	構成比	金額	構成比	増減額
流動資産	22,749	91.8%	21,786	90.0%	▲ 963
現金及び預金	3,750	15.1%	3,105	12.8%	▲ 645
売上債権	17,250	69.6%	16,590	68.5%	▲ 659
たな卸資産	1,516	6.1%	1,805	7.5%	289
固定資産	2,025	8.2%	2,424	10.0%	399
投資その他の資産	1,420	5.7%	1,711	7.1%	292
資産合計	24,775	100.0%	24,211	100.0%	▲ 564
流動負債	16,410	66.2%	15,413	63.7%	▲ 996
買掛債務	12,195	49.2%	10,832	44.7%	▲ 1363
短期借入金	3,733	15.1%	4,047	16.7%	314
未払法人税等	36	0.1%	45	0.2%	9
固定負債	1,265	5.1%	1,193	4.9%	▲ 72
長期借入金	636	2.6%	360	1.5%	▲ 276
負債合計	17,675	71.3%	16,607	68.6%	▲ 1068
純資産	7,099	28.4%	7,603	31.2%	504
株主資本	6,774	27.3%	6,959	28.7%	186
負債・純資産合計	24,775	100%	24,211	100%	▲ 564

連結B/Sの増減要因

休日要因による増加の解消

主たる要因は、保有投資有価証券の評価増。

休日要因による増加の解消

自己資本比率 31.2%
(14/3月期末 30.5%)

【単位】金額：百万円

13. 2015年3月期 連結業績予想

【当期の取組方針】

海外拠点を有機的に活用する事で得意先である海外進出日系企業との取組みを拡大し、顧客密着型の営業を徹底し、共に成長をはかる。

国内・海外の連結子会社を含め、グループ全体としての連携強化に努め、増収増益を目指す。

<前提為替 1US\$=102円45銭>

【単位】金額：百万円

	14/3月期 (実績)		15/3月期			
	金額	売上高比	(1Q期実績)		(通期予想)	
			金額	売上高比	金額	売上高比
売上高	59,568	100.0%	13,845	100.0%	62,500	100.0%
営業利益	833	1.4%	186	1.3%	900	1.4%
経常利益	803	1.3%	181	1.3%	880	1.4%
当期純利益	279	0.5%	121	0.9%	480	0.8%
一株当たり 当期純利益	32.72	-	14.20	-	56.15	-

* 配当方針について

当社は、株主の皆様への安定的な利益還元を経営の最重要政策のひとつとして位置づけております。配当政策につきましては将来の事業展望(海外展開及びM&A)と経営基盤・財務基盤の強化のため必要な内部留保を確保しつつ安定的な配当の継続を実施していくことを基本方針としております。